

【様式 4】

公立大学法人沖縄県立芸術大学
令和 4 年度業務実績評価書
(案)

令和 5 年 9 月
沖縄県公立大学法人沖縄県立芸術大学評価委員会

I 全体評価

1 全体評価の総評

令和4年度は、中期目標期間の2年目であり、中期目標達成に向け、中期計画に基づいた年度計画を順調に実施しており、着実な業務の進捗状況にある。

2 中期目標の達成に向け、評価できる点（優れた点、特色ある点）

令和4年度においても新型コロナウイルス感染症の影響が継続する状況であったが、そのような中でも、創意工夫し、適切な感染防止対策を講じつつ、大学運営が行われている。

学部卒業生、大学院修了生の輩出に関しては、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の一貫性を持ち、カリキュラムマップ、コースツリー等の整合性を図るとともに、卒業時調査による学習成果の検証を行うなど、教育課程の編成等に活かすよう努めており、目標を上回る成果となっている。

学内公募型の教育研究支援資金の活用や、教員の専攻分野の枠にとらわれない社会的意義のあるプロジェクトを推進するなど、教員の研究能力、研究水準の維持向上に取り組むとともに、外部研究資金の獲得に向けた取組の強化として、外部研究資金の採択経験を有する教員が講師となった説明動画の作成、申請書の添削を行うなどの大学独自の取組を行い、数値目標を上回る成果を出している点が評価できる。

社会貢献に関する取組については、文化関係団体、自治体、企業をはじめ、地域社会と連携した活動に多数取り組んでおり、大学の教育研究成果の還元を通じた地域の活性化に貢献しており、目標を上回る成果となっている。

3 中期目標の達成に向けた課題（更なる充実が期待される点、改善すべき点）

志願倍率の維持向上に関する取組として、オープンキャンパスや進学説明会等を複数回実施しているものの、音楽学部の志願倍率が低調であることから、高大接続に係る取組の更なる充実、入学者選抜方法の改善等に期待したい。

また、ホームページのアクセス数に関して、令和4年度の目標を上回る状況ではあるものの、昨年度よりも減少している点についての要因分析や、掲載情報を最新の状態に保つための仕組みづくりなど、学外への戦略的な情報発信に関する取組について、更なる充実を期待したい。

4 中期目標の達成に向けた法人への要望

公立大学法人へ移行して2年目となる令和4年度は、法人運営の基盤を整え、中期目標の達成に向けた取組を着実に推進した1年間であったと総括される。

教育研究の質の向上に関する目標の推進にあたっては、志願倍率の維持向上に関する取組が、唯一、年度計画の目標を下回る項目となっていることから、今後も中期目標の達成に向けた様々な取組を、より一層推進していただきたい。

法人運営に関する目標の推進にあたっては、戦略的な情報発信を推進するとともに、法人化したメリットを十分に発揮できるよう、剰余金の効果的な活用方法の検討を行い、効果的かつ効率的な業務運営体制を確立してもらいたい。

Ⅱ 項目別評価

Ⅱ 項目別評価

1 業務実績の検証

項目別評価を実施するに当たって、法人から提出された業務実績等報告書を基に検証を行った。

検証に当たっては、年度計画及び中期計画に記載されている各項目の業務の実績について、中期計画の進捗・達成状況及び成果・効果を確認するとともに、法人の自己評価及び計画設定の妥当性を含め総合的に行った。

検証は、法人からのヒアリングにより実施した。

2 業務実績の評価

業務実績等報告書の各項目の検証及び特記事項等を基に、業務の進捗・達成状況及び成果・効果を小項目ごとに1～5の5段階で評価し、中項目ごとにまとめた。

評定	評語	説明
1	年度計画を大幅に上回って実施している。	顕著な実績又は特に優れた成果が認められるもの
2	年度計画を上回って実施している。	年度計画を上回る取組、実績又は成果を挙げたもの、あるいは年度計画を順調に実施し、かつその取組に注目すべき点（※）が認められるもの
3	年度計画を順調に実施している。	達成度が概ね100%程度と認められるもの
4	年度計画を十分に実施できていない。	年度計画を計画通り実施できていないもの 実績・成果が年度計画を下回っているもの
5	業務の大幅な見直し、改善が必要である。	評価委員会が特に認める場合

※中期目標を達成するため、中期計画を前倒しして実施するなど、戦略性が高く意欲的な年度計画を積極的に実施するなどの、その取組に注目すべき内容が認められるもの、あるいは社会情勢の変化等の外的要因により達成がより困難となった年度計画について達成したもの等

3 業務実績等報告書の各項目ごとの評価

《中期計画》

第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

1 教育に関する目標を達成するための措置	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評価
(1) 教育の内容に関する目標を達成するための措置	8		1	6	1		3
(2) 教育の成果に関する目標を達成するための措置	2		2				2
(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置	4			4			3
(4) 学生への支援に関する目標を達成するための措置	6			6			3

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
(1) 教育の内容に関する目標を達成するための措置 【数値目標①】大学の志願倍率の維持向上 2.3倍/毎年度 【数値目標②】大学院の志願倍率の維持向上 1.5倍/毎年度	1.9倍（達成率82.6%） 1.8倍（達成率120%）
(2) 教育の成果に関する目標を達成するための措置 【数値目標③】学部卒業生の輩出 96人/毎年度 【数値目標④】大学院修了生の輩出 35人/毎年度	110人（達成率114.6%） 44人（達成率125.7%）
(3) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑤】FD・SD研修会の参加率向上 最終年度 100% R4年度 78%	77.7%（進捗率77.7%） （達成率99.6%）
【数値目標⑥】就職希望者の就職率 学部卒業生 最終年度 77.3% R4年度 73.3% 大学院修了生 最終年度 83.4% R4年度 79.4%	学部卒業生 78.3%（進捗率101.3%） （達成率106.8%） 大学院修了生 86.7%（進捗率104.0%） （達成率109.2%）

【評価説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）の一貫性を持ち、カリキュラムマップ、コースツリー等の整合性を図るとともに、卒業時調査による学習成果の検証を行うなど、教育課程の編成等に活かすよう努めており、目標を上回る成果を出している。

(2) 更なる充実が期待される点

○志願倍率の維持向上に関する取組として、オープンキャンパスや進学説明会等を複数回実施しているものの、音楽学部の志願倍率が低調であることから、高大接続に係る取組の更なる充実、入学者選抜方法の改善等に期待したい。

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）

なし

第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
(1) 研究水準及び研究成果に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑦】外部研究資金の導入 外部研究資金の応募率 最終年度 19.2% R4年度 15.2% 外部研究資金の導入件数 12件/毎年度	応募率 19.5% (進捗率101.6%) (達成率128.3%) 導入件数 21件 (達成率175.0%)

(1) 優れた点・特色ある点

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

II - 3

《中期計画》

第1 教育研究等の質の向上に関する目標を達成するための措置

3 社会貢献等に関する目標を達成するための措置	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評定
(1) 社会貢献に関する目標を達成するための措置	4	1	1	2			2
(2) 国際交流等に関する目標を達成するための措置	2			2			3

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
(1) 社会貢献に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑧】公開講座、公開授業、移動大学等開催数 最終年度 38件/年 R4年度 35件/年 【数値目標⑨】展覧会、演奏会、定期公演等開催数 63件/毎年度 【数値目標⑩】自治体、地域、企業等との連携事業数 38件/毎年度	公開講座、公開授業、移動大学等開催数 45件（進捗率118.4%） （達成率128.6%） 展覧会、演奏会、定期公演等開催数 70件（達成率111.1%） 自治体、地域、企業等との連携事業数 65件（達成率171.1%）

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

○文化関係団体、自治体、企業をはじめ、地域社会と連携した活動に多数取り組んでおり、大学の教育研究成果の還元を通じた地域の活性化に貢献している。

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）

なし

《中期計画》

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するための措置

	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評価
1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置 (1) 学長となる理事長を中心とする運営体制の構築	1			1			3
1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置 (2) 戦略的な予算等の配分	1			1			3
2 教育研究組織の見直しに関する目標を達成するための措置	1			1			3
3 人事の適正化に関する目標を達成するための措置	2			2			3
4 事務等の効率化及び合理化に関する目標を達成するための措置	2			2			3

【評価説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）
なし

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するための措置

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
1 外部研究資金その他の進捗収入の増加に関する目標を達成するための措置 【数値目標⑦】外部研究資金の導入 外部研究資金の応募率 最終年度 19.2% R4年度 15.2% 外部研究資金の導入件数 12件/毎年度 再掲（第1-2(1)【数値目標⑦】）	応募率 19.5%（進捗率101.6%） （達成率128.3%） 導入件数 21件（達成率175.0%）

(1) 優れた点・特色ある点

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

II — 6

《中期計画》

第4 教育及び研究並びに組織及び運営の状況について自ら行う点検及び評価並びに当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するための措置

	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評定
1 自ら行う点検及び評価の充実に関する目標を達成するための措置	1			1			3
2 情報公開の推進等に関する目標を達成するための措置	1			1			3

◆数値目標 ※上記評価項目に含む	達成／進捗状況
2 情報公開の推進等に関する目標を達成するための措置 【数値目標①】大学のホームページ等のアクセス数の維持向上 最終年度 140,200件/年 R4年度 124,500件/年	ホームページ等のアクセス数 132,893件（進捗率94.8%） （達成率106.7%）

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(2) 更なる充実が期待される点

○令和4年度の目標を上回る状況ではあるものの、アクセス数が昨年度よりも減少している点についての要因分析や、掲載情報を最新の状態に保つための仕組みづくりなど、学外への戦略的な情報発信に関する取組について、更なる充実を期待したい。

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）

なし

《中期計画》

第5 その他業務運営に関する重要目標を達成するための措置

	項目数	自己評価 S 個数	自己評価 A 個数	自己評価 B 個数	自己評価 C 個数	自己評価 D 個数	評定
1 施設設備の整備及び活用等に関する目標を達成するための措置	1			1			3
2 安全管理等に関する目標を達成するための措置	2			2			3
3 法令遵守及び人権の尊重に関する目標を達成するための措置	1			1			3

【評定説明】

(1) 優れた点・特色ある点

(2) 更なる充実が期待される点

(3) 改善すべき点

(4) 法人の自己評価と異なる点とその理由（異なる場合のみ記載）
なし